

● 図書館見学ツアー

図書館の有効な利用方法を体得してもらえよう、見学ツアーを開催しています。また、オープンキャンパスでは、高校生も参加できます。

● 情報検索ガイダンス

本・雑誌の探し方や電子ジャーナル・データベースの使い方を習得し、情報の真偽を見抜くことの重要性を理解の上、引き出した情報の検証や活用によりレポート等の作成にむけたスキルをアドバイスします。ガイダンスは初級・中級・上級と受講者の利用目的やレベルに合わせて開催しています。

● 各種イベント

様々なテーマでイベントを開催しています。

(過年度開催分)

図書館企画展

- 「2019年松山大学ビブリオバトル優勝・準優勝本の展示」
- 「芥川・直木賞受賞作品展示」
- 「卒業生 宇佐美まことさん作品展示」
- 「第19回松山大学図書館書評賞受賞作品展示」 など

● 松山大学図書館書評賞

「松山大学図書館書評賞」は、学生の読書活動の促進、大学での教育活動の質的向上、文化・知的活動の空間として大学を活性化することを目的として「書評」を募集しています。優秀な作品は「松山大学図書館書評賞」として表彰し、広く学内外に紹介しています。なお、過去の受賞作品はホームページに掲載しています。
 ※書評とは、読書感想文とは違い、書物の内容を適切に紹介し論理的に批評を展開することです。
 ※詳細は、松山大学図書館ホームページをご覧ください。

● 松山大学ビブリオバトル

「ビブリオバトル」は「知的書評合戦」とも言われ、バトル（発表参加者）が読んで面白かった本の紹介を行い、発表後に参加者全員で投票し、「チャンプ本」を決めるイベントです。
 ※詳細は、松山大学図書館ホームページをご覧ください。



松山大学図書館

〒790-8578 松山市文京町4番地2
 TEL(089)926-7208 FAX(089)922-5657
<https://www.matsuyama-u.ac.jp/library/>

2020年4月発行

図書館の利用について

図書館への入館や図書館資料の貸出には、図書館利用証(ライブラリーカード)が必要です。忘れた場合は図書館資料の貸出しはできません。

◆利用資格…利用目的が学習、研究・調査であること

- ①松山大学・松山短期大学の学生及び大学院生並びに教職員等
- ②本学の卒業生・修了生
- ③愛媛県内の他大学等(大学、短期大学、高等専門学校)の学生
- ④愛媛県内の他大学等(大学、短期大学、高等専門学校)の教職員
- ⑤図書館の利用を申し出た一般の利用者(ただし、児童・生徒は除く。)

※①以外の方で本学図書館の利用を希望される方は、所定の申請手続きが必要です。サービスカウンターにお申し出ください。詳しくは本学ホームページをご覧ください。
 ※図書館利用証(ライブラリーカード)の有効期限は交付日から翌年度末までです。その後も継続して利用を希望する場合は更新手続きが必要です。更新しない場合は、図書館利用証(ライブラリーカード)をご返却ください。



図書館利用証(ライブラリーカード)

● 開館時間

◆授業期間 ……………平日/8:30~21:30
 土曜日/8:30~20:00

◆夏季・冬季・春季休暇期間 ……………平日・土曜日/8:30~17:00
 ※サービスカウンター業務は閉館15分前に終了します。
 ※開館日程及び開館時間は変更される場合がありますので、松山大学図書館ホームページをご確認ください。

● 休館日

日曜日及び国民の祝日、本学開学記念日(5月29日)、夏季一斉休日及び年末年始一斉休日、その他都合により臨時に閉館することがあります。

● 貸出及び返却(サービスカウンター)

図書館資料に図書館利用証(ライブラリーカード)を添えて所定の手続きをしてください。

◆貸出冊数・期間

利用者区分	冊数	期間
本学学生	5冊以内	2週間
本学大学院生	30冊以内	3か月
卒業生・修了生・他大学の学生等	3冊以内	2週間
一般の利用者	3冊以内	2週間

◆返却

貸出図書館資料は返却期限を厳守し、サービスカウンターに返却してください。
※直接書架に戻したり、館内の返却台に戻したりしないでください。



退館ゲートは、貸出手続きが未完了の場合や電子機器・貴金属類に反応しアラームが鳴ることがあります。
 ※アラームが鳴った際は、係員の原因調査にご協力ください。

◆延滞

返却期限を超えた場合は、一定期間の貸出停止となります。

◆紛失・汚損

図書館資料を紛失・破損または汚損したときは、ただちにサービスカウンターに届け出て所定の手続きを行ってください。
 ※原則として弁済していただきます。

● 貸出できない図書・資料について

- 貴重図書資料として指定したものとこれに準ずるもの
 - 参考図書資料のうち禁帯出図書館資料として指定したもの
 - 新聞・逐次刊行物・製本雑誌(バックナンバー)
 - マイクロ資料及び視聴覚資料
 - その他、禁帯出図書館資料として指定したもの
- ※禁帯出シールのついた図書は貸出しできません。



● レファレンス・サービスについて

資料の探し方・使い方、OPAC・データベースの検索方法、所蔵調査などを図書館員がお手伝いします。その他、図書館の利用についてわからないことがあれば、サービスカウンターでご相談ください。

● 文献複写サービスについて

本学所蔵の資料に限り、著作権の範囲内で複写することができます。所定の「文献複写申込書」に記入のうえ、サービスカウンターでお申し込みください。複写料金は下記のとおりです。

※ 個人の持ち込み資料(ノート等)はコピー不可 ※学外者の料金

白黒	40円
カラー	100円



図書館所蔵の資料は、著作権法第31条に定める範囲内で、権利者の許諾を得ずに複写できます。
 ・複製(コピー)は著作物の一部分、1人につき1部に限られます。
 ・雑誌等の定期刊行物に掲載された論文・記事等の複製(コピー)は、発行後相当期間(次号の刊行まで、あるいは刊行後3か月経過)を過ぎたものに限られます。最新号の複製(コピー)はできません。

資料の探し方

図書館資料は、日本十進分類法によって、その主題・内容ごとに分類され、請求記号により配架されています。

◆分類表

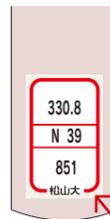
000	総記	500	技術
100	哲学	600	産業
200	歴史	700	芸術
300	社会科学	800	言語
400	自然科学	900	文学

◆請求記号(ラベル表示)の見方

「請求記号」とは、分類番号と著者記号等を組み合わせたもので、その資料の所在(配架場所)を示します。資料の背表紙には請求記号が記されたラベルが貼付されています。

請求記号の1段目は、資料の内容を表しているもので、その番号の周辺には内容の近い資料が集まっています。

- 1段目 分類番号
(日本十進分類法による主題ことの数字)
- 2段目 著者記号
(著者名・団体名や書名を数字やアルファベットに記号化したもの)
- 3段目 著作番号
(著作番号+複本記号、資料記号、版記号、翻訳者記号など)
※3段表記と2段表記のラベルがあります。



◆請求記号(ラベル表示)の並び

図書館資料は、請求記号順に下記のとおり配架し、各書棚には図書の主題と分類番号を表示しています。

並びの例

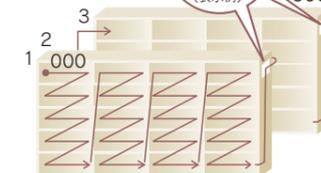


● 図書館資料の検索方法

◆書架で資料を探す

館内の図書館資料は、地下書庫や稀覯書室等を除き自由に閲覧できます。自分の探している資料がどこに分類されているか調べ、その分類番号の書架に行き探してください。

◆書架の並び



● 松山大学蔵書検索システム(OPAC)を使って本を探す

本学所蔵の図書館資料は、松山大学公式HP図書館ページの蔵書検索(OPAC・マイライブラリ)リンクより調べられます。



【蔵書検索(OPAC)画面】

◆閉架図書の閲覧

OPAC検索で所在が「図書館閉架」と表示されたものは閉架図書資料です。所定の用紙に必要事項を記入し、サービスカウンターでお申し込みください。

◆閉架図書資料閲覧票の記入方法

OPAC検索結果画面

閉架図書資料閲覧票 2020年4月1日

利用者番号	90001577	氏名	松山 一郎
所 属	1.学部学生 2.大学院生 3.教職員 4.名誉教授 5.旧教職員 6.非常勤講師 7.卒業生 ⑧学外者()	図書館記入欄	
書名(タイトル・サブタイトル・番号・文庫名等も記入してください)	環境経済入門		返却 管理 備考
資料ID ()	21122774		
請求記号	330.8 // N 39 // 851		



・検索方法がわからない場合はサービスカウンターにご相談ください。
 ・松山大学蔵書検索システム(OPAC)で図書館資料を探すときは、請求記号、所在を控えておくで早く探せます。

MATSUYAMA UNIVERSITY
 LIBRARY
 SERVICE GUIDE

松山大学図書館利用案内



松山大学図書館について

『知の戦略的拠点としてのハイブリッド図書館』を目標とし、学習支援サービスの充実と教育環境の整備を図り、サービスの向上に努めています。また、地域社会との連携を目指して一般の利用者にも広く開放しています。



松山大学図書館の精神

～LUX ET VERITAS(光と真理)～

「諸科学の研究を通じて、世を照らす光明を発見し、真理をきわめる」

利用上の注意事項

- 図書館資料及び施設等を正しく利用してください。
- 図書館利用証(ライブラリーカード)は必ず携帯してください。
- 談話、飲食、携帯電話は1F談話室を利用してください。ただし、ふた付き飲料(ペットボトル、水筒など)のみ、館内持込可とします。
- 印刷物の配布及び掲示、又は会合や集会はしないでください。
- 図書館資料、機器又は設備を汚損、毀損しないでください。
- 図書館資料の無断持出し及び図書館利用証(ライブラリーカード)の貸与はしないでください。
- 学内の情報ネットワーク等を不正利用しないでください。
- 持物による座席の独占をしないでください。
- なお、他の利用者の迷惑となる場合は、退館していただくことがあります。

◆利用及びサービスの制限

※学外利用者については、サービス内容の制限及び対象者を限定している場合もありますので、不明な点はサービスカウンターで確認してください。

松山大学図書館では以下のことを遵守しています

- 図書館の自由に関する宣言
(図書館は利用者の秘密を守る。)－日本図書館協会1954年採択・1979年改訂－
- 図書館員の倫理綱領
(図書館員は利用者の秘密を漏らさない。)－日本図書館協会1980年6月4日総会決議－
- 貸出業務へのコンピューター導入に伴う個人情報の保護に関する基準－日本図書館協会1980年5月25日総会決議－

FLOOR INFORMATION

50年記念館	図書館
5階 研究室	第4閲覧室 個人閲覧室
4階 研究室	薬学部コーナー 各種資格試験図書 公務員、教職、簿記・会計、司法、語学・留学、情報、司書、不動産、販売士(リテールマーケティング)、就職、各種検定試験、外国人留学生用図書 Graded Readers・NHK講座
3階 研究室	第3閲覧室 個人閲覧室
2階 マイクロ資料室	第2閲覧室 キャレール・デスク 読書指導室 AV室・稀観書室 自習室
1階 談話室	第1閲覧室 視聴覚ブース 視聴覚資料 マイクロリーダー室 学生コピー室
地下1階	開架図書 書庫1: 図書(和書・洋書) 書庫2: 新聞・新聞縮刷版・和叢書・追録 書庫3: 和雑誌・特殊文庫・和年報年鑑類・官報 書庫4: 参考図書(辞書・辞典類)
地下2階	開架図書 書庫5: 図書(和書・洋書) 書庫6: 洋叢書・洋雑誌・洋年報年鑑類



1 入館・退館ゲート
入館時、カード読取装置に図書館利用証(ライブラリーカード)をタッチするとゲートが開きます。また、退館の際は、BDSで資料の無断(未手続)持出しを防止しています。
※BDS(無断持出し防止装置):Book Detection Systemの略



2 展示コーナー
稀観書等の図書館資料、催し物等の展示



3 サービスカウンター
図書館資料の貸出・返却、利用者証申込、開架図書の閲覧・貸出の受付窓口



4 学生コピー室
図書館所蔵の資料に限って、著作権の範囲内で複写(コピー)可
※対象: 卒業生、非常勤講師、旧教職員
※その他の方は、サービスカウンターにお申し込みください。

5 マイクロリーダー室
図書館所蔵のマイクロフィルム・フィッシュの閲覧室

7 参考図書(禁帯出資料)
特定の知識・情報について調べるための百科事典をはじめとする事典・辞書・年報・年鑑・白書などを配架



8 雑誌
和・洋の一般雑誌及び学術雑誌を約600タイトルを配架
※過年度分は製本雑誌として地下書庫に配架



9 C3選書図書
松山大学図書館学生アドバイザースタッフ「C3」による選書本を配架



▲C3選書の様子

10 ベストセラー
書店のベストセラーや最近話題の本を配架

11 新着図書
新しく受入れた本を配架

12 視聴覚ブース及び視聴覚資料
BD・DVD(薬学のみ別置)・CD(別置)等の視聴覚資料を紹介
※利用申込後、図書館利用証(ライブラリーカード)と引き換えにヘッドホンを貸与します。視聴覚資料の持込はできません。



13 CD-R・DVD-R検索用PC
図書館所蔵のCD-ROM、DVD-ROM資料の検索専用パソコン
※利用の際は申込が必要です。

14 蔵書検索用PC



15 談話室
カウンターテーブルを設置。休憩等にご利用ください。

2F



16 一般開架図書
2階には、総記(000) 哲学(100) 歴史(200) 社会科学(300)関係の資料を配架



17 AV室



18 読書指導室



19 稀観書室
アダム・スミス著「国富論」初版(1776)をはじめ1,000点以上の稀観書を収蔵



20 マイクロ資料室
Pravda(1921-1938)(4r.)をはじめ約650点以上のマイクロ資料を収蔵

3F



22 一般開架図書
3階には、自然科学(400) 技術(500) 産業(600) 芸術(700) 言語(800) 文学(900)関係の資料を配架



4F



23 薬学部コーナー
薬学関係の資格図書、一般図書、参考図書、製本雑誌を配架

24 各種資格試験図書
公務員、教職、簿記・会計、司法、情報、語学・留学、司書、不動産、販売士(リテールマーケティング)、就職、各種検定試験、外国人留学生に関する参考資料及び問題集などを配架



25 Graded Readers
26 NHK講座